

熊本県内路線バス事業に関する データの公表について

**2020年11月
共同経営準備室**

1. はじめに

はじめに、本年7月の豪雨災害で被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。そして、被災地の一日も早い復旧・復興を祈念申し上げます。

路線バス事業については、利用者の減少や運転士の不足が深刻化し、バスサービスの廃止や縮小を余儀なくされている状況が続いています。さらには、新型コロナウイルスの影響を受け、厳しい経営状況が続いています。このような中、我々熊本県内の路線バス事業者5社は、一人でも多くの県民の皆様に路線バスをご利用いただき、日常生活を支える移動手段としてバスサービスを維持・拡充していくため、共同経営型の事業形態に移行し、会社の垣根を越えた様々な取組を進めていくことを、本年1月に確認しました。そして、この取組の一環として今回、路線バス事業に関するデータを皆さまに公表する運びとなりました。このデータ公表を契機として、バス事業へのご理解ご協力を賜り、バスをはじめとする公共交通をより多くの方がご利用いただくことに繋がれば幸いです。また、様々なデータを沿線自治体をはじめとする関係者の皆様と十分に共有しながら、地域のまちづくりに貢献していきたいと考えております。

路線バスは、大型2種免許を取得した、いわゆるプロの運転士が運転する安全安心な移動手段と言えます。各社の運転士及び従業員は、日々の体調管理を徹底し、車両の安全点検や新型コロナウイルスの感染防止策を入念に行うなど、皆さまに快適に利用いただける準備を常に整えています。また、路線バスをはじめとする公共交通を利用すると以下の様なことが期待されますので、普段は自家用車を利用されている方におかれましても、時には公共交通を使って移動されてみてはいかがでしょうか。

- ・徒歩機会が増えることにより、ご自身の健康増進に繋がる。
- ・例えば行先で飲酒を伴う食事をしても、帰りの移動を心配する必要がない。
- ・車窓からまちの様子などを見ることができ、新たな発見につながる。
- ・移動する際のCO2排出量が減り、環境負荷の軽減に繋がる。
- ・公共交通を利用することが、何よりもその路線の維持・確保に繋がる。

今回のデータ公表をスタートとして、今後、共同経営に向けた取組を着実に進めて参ります。県民の皆様におかれましては、路線バスをはじめとする公共交通についてご理解ご協力いただくとともに、様々な生活シーンにおいて、公共交通をご利用いただければ幸いです。

令和2年11月13日

共同経営準備室長(熊本都市バス(株)社長) 高田 晋

2. 共同経営について

2-1 バス交通のあり方に関する今後の方向性

※第5回「熊本におけるバス交通のあり方検討会」(令和2年1月27日)資料より

将来にわたり地域の実情に応じたバスサービスは県民・市民にとって不可欠であり、わかりやすく利便性の高いバスサービスを提供することで、より多くの県民・市民に公共交通を利用して頂くため、本検討会においてバス交通のあり方に関する今後の方向性を以下のとおり確認した。

■今後の方向性

1 バス事業者は、熊本の公共交通ネットワークにおいてバス交通が担うべき役割(=あるべきバス路線網)を将来にわたり維持し、かつその利便性・生産性を最大限向上させるため、会社間の垣根を越えて路線再編等の取組を実施する。

2 バス事業者は上記1の取組を実現していくため、国の未来投資会議で示された独占禁止法特例法案成立後に“共同経営型”の事業形態へ移行することを前提に準備を進めることとし、令和2年(2020年)4月に、熊本都市バス株式会社内に共同経営準備室を設置する。

3 バス事業者はスタートアップ事業として、利用促進策(共通定期券等)の実施や路線バス事業に関するデータ公表を令和2年(2020年)内に行う。

2-2 あるべきバス路線網の実現に向けた取組

※第5回「熊本におけるバス交通のあり方検討会」(令和2年1月27日)資料より

あるべきバス路線網とは、**利用者のニーズに沿った利便性の高い持続可能なバス路線網**を指す。この実現に向けて路線バス事業者5社がその垣根を越えて取り組むことはもとより、鉄軌道事業者・タクシー事業者・関係機関・地元自治体等とも緊密な連携が必要。

1 重複区間等の最適化

バス同士や鉄軌道との重複区間等で、需給バランスの最適化を図ります。

2 コミュニティ交通等と連携したNW維持

需要に応じてバスとコミュニティ交通等が役割分担し、NW全体を維持します。

※NWは、ネットワークを指します。

3 新規路線等の拡充

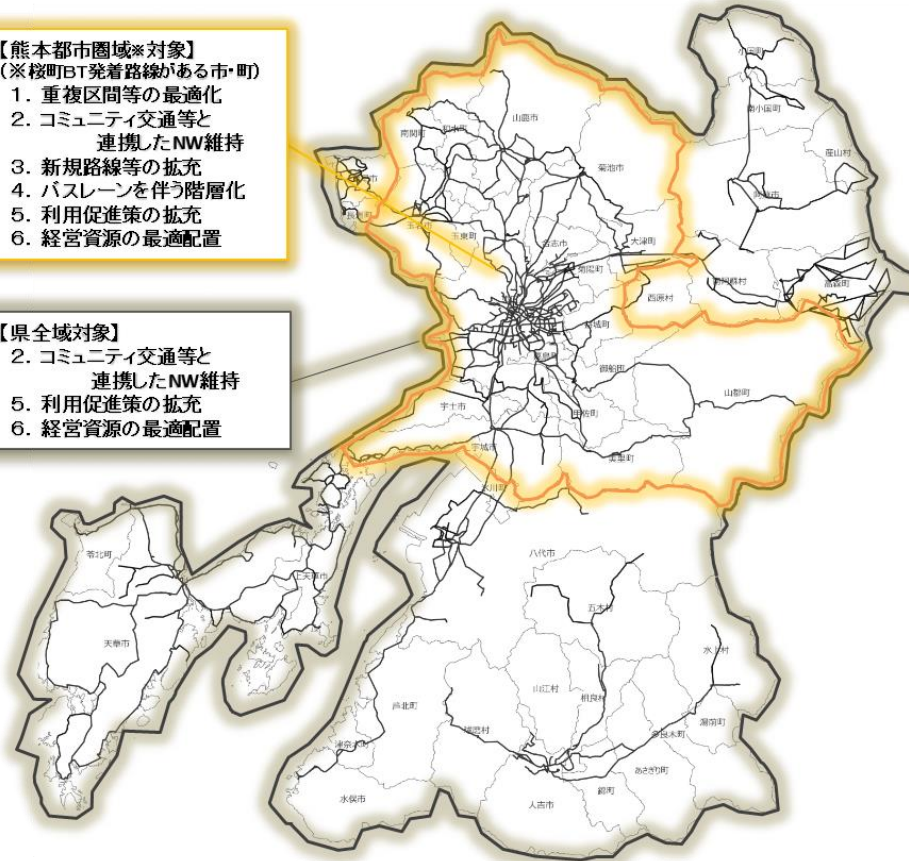
わかりやすく利用しやすい新規路線やニーズに沿った増便を進めます。

【熊本都市圏域※対象】
(※桜町BT発着路線がある市・町)

1. 重複区間等の最適化
2. コミュニティ交通等と連携したNW維持
3. 新規路線等の拡充
4. バスレーンを伴う階層化
5. 利用促進策の拡充
6. 経営資源の最適配置

【県全域対象】

2. コミュニティ交通等と連携したNW維持
5. 利用促進策の拡充
6. 経営資源の最適配置



▲あるべきバス路線網の実現に向けた取組と対象エリア

4 バスレーンを伴う階層化

バスレーンの導入などとともに、バス路線の幹線支線化を進めます。

5 利用促進策の拡充

共通定期券、乗継割引の拡充、均一運賃制などの検討を進めます。

6 経営資源の最適配置

現在の5社の垣根にとらわれず、常に運転士や車両の最適配置を検討します。

※上図は2018年度当時のバス路線網

3. データ公表の目的

3-1 データ公表の目的

■公共交通についてご理解・ご協力いただくため

- 路線バスをはじめとする公共交通を維持・拡充していくためには、バス事業者が共同経営に関する取組などを進めるとともに、県民の皆様や沿線自治体、他の交通事業者など様々な方の、ご理解とご協力が必要です。

■公共交通をもっとご利用いただくため

- データを定期的に公表することで、路線バスの現状や取組にご興味を持っていただき、より多くの方が路線バスをはじめとする公共交通をご利用いただくきっかけになれば幸いです。
- また、公共交通をご利用いただくことは、ご自身の健康増進・環境負荷の軽減・将来にわたる公共交通の維持や拡充などに繋がることが期待されます。

■地域のまちづくりに貢献するため

- 例えば、地域の方針に沿った使いやすいバス路線網への再編などにより、地域のまちづくりに貢献していくことを目指します。このために、路線バスに関する様々なデータを関係者の皆様と十分に共有していきます。

4. 路線バス事業のデータ

4-1 路線バス事業者(5社)

会社名



九州産交バス 産交バス※

※九州産交バスの子会社



熊本電鉄

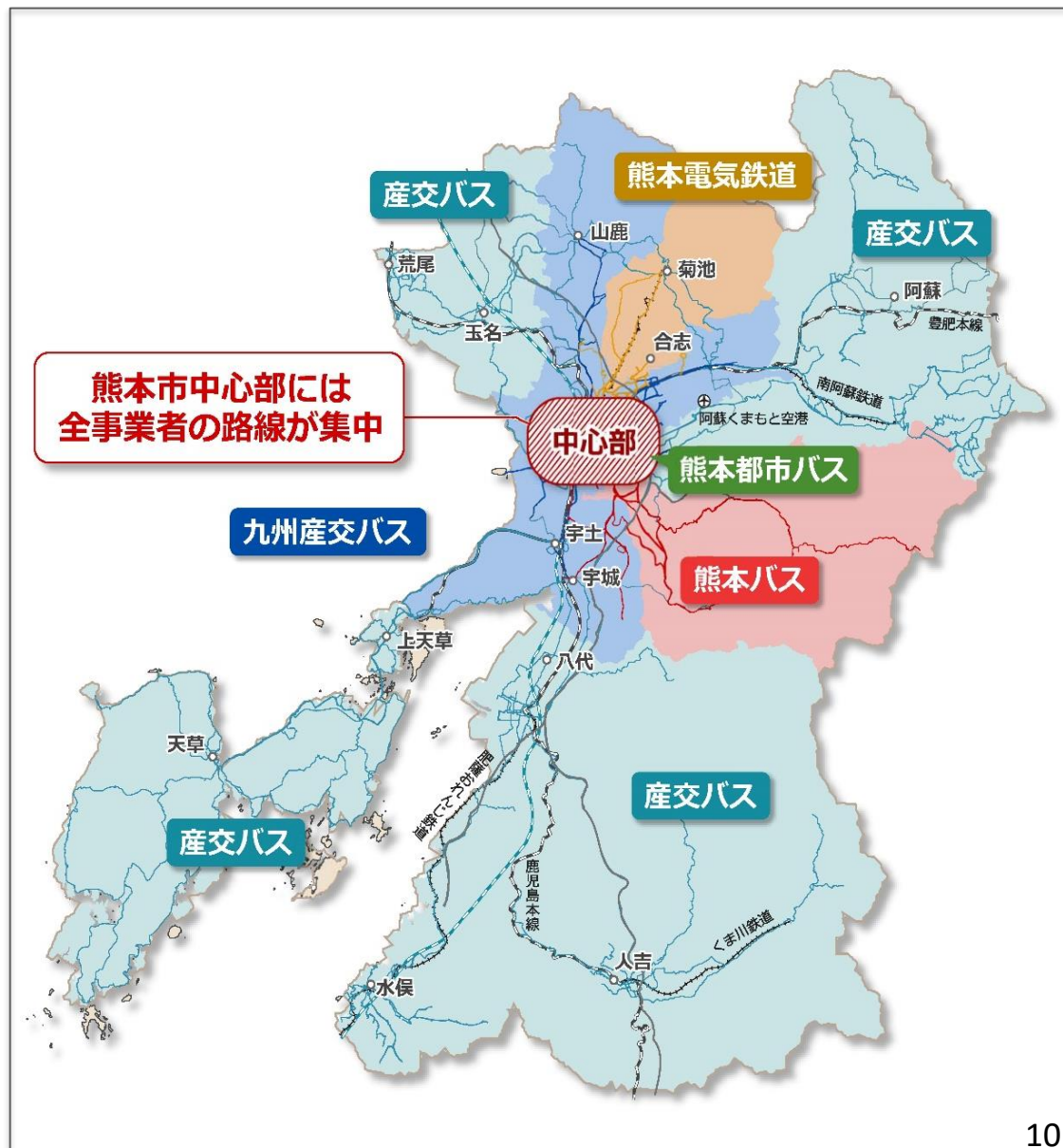


熊本バス



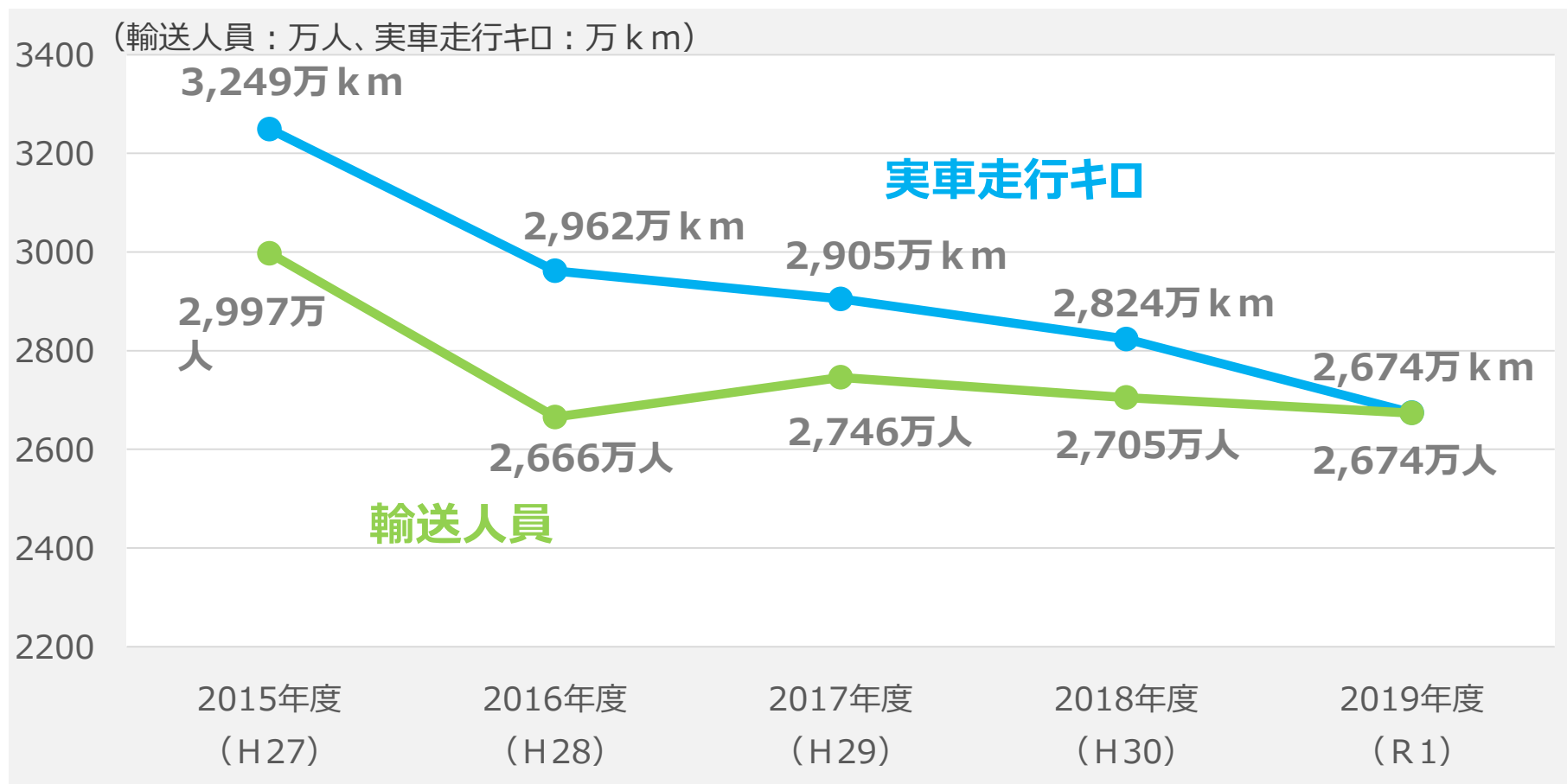
熊本都市バス

運行エリア



4-2 輸送人員・実車走行キロの推移(5社合計)

路線バスの輸送人員は年々減少し、この4年間で約11%減少。実車走行キロは4年間で約18%減少。双方ともに2016年度は熊本地震の影響により落ち込みが特に大きく、以降も回復に至っていない。

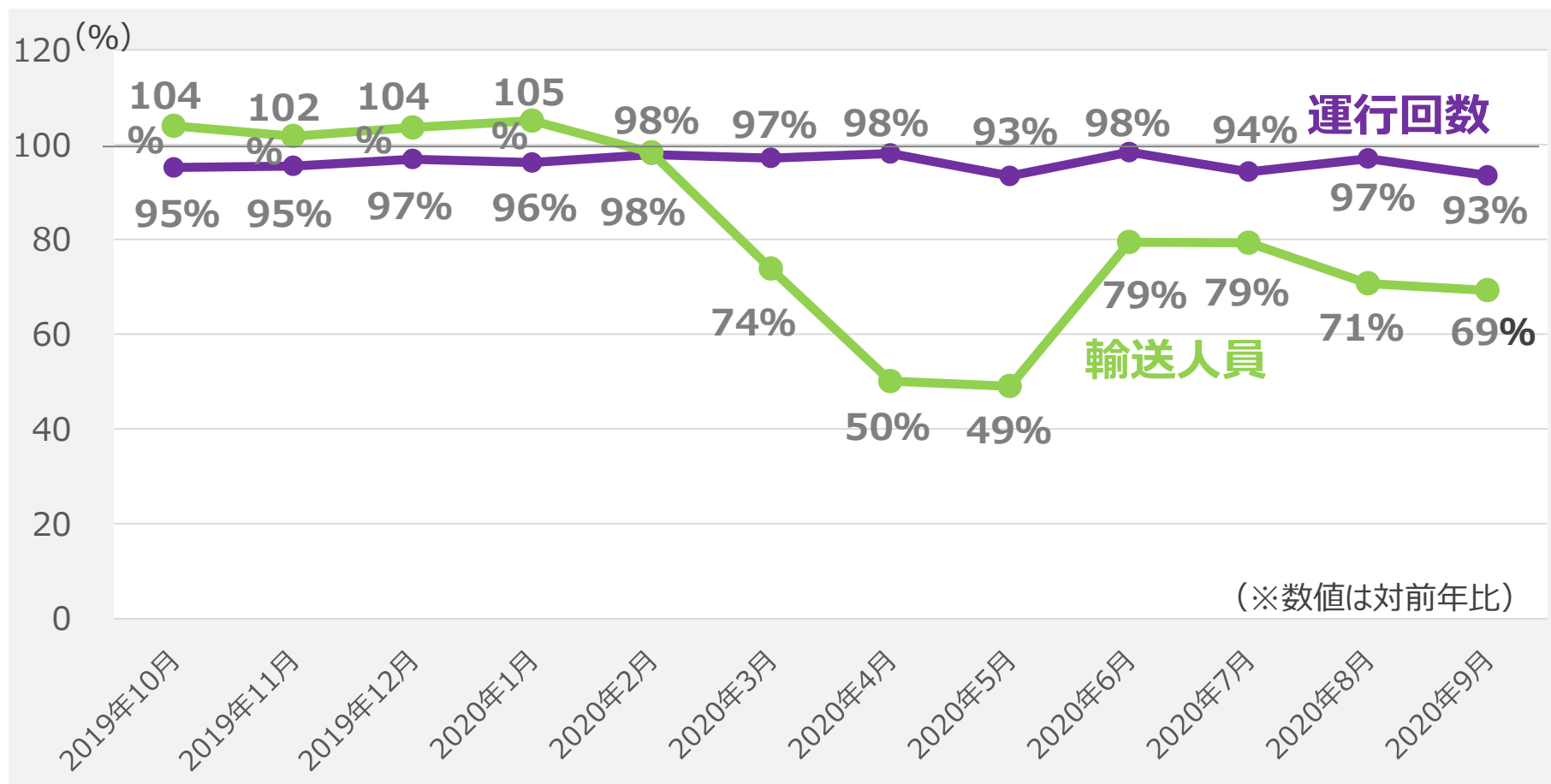


<備考>

要素別原価報告書を基に共同経営準備室作成。高速バス・空港リムジンバスは除く数値。

4-3 直近の月別輸送人員・運行回数の推移(5社合計)

サクラマチクマモト開業効果等により、路線バスの輸送人員は1月までは前年を上回っていた。3月以降はコロナウィルスの影響で前年を大きく下回っているが、「密」を回避する観点から運行回数は維持している。



<備考>

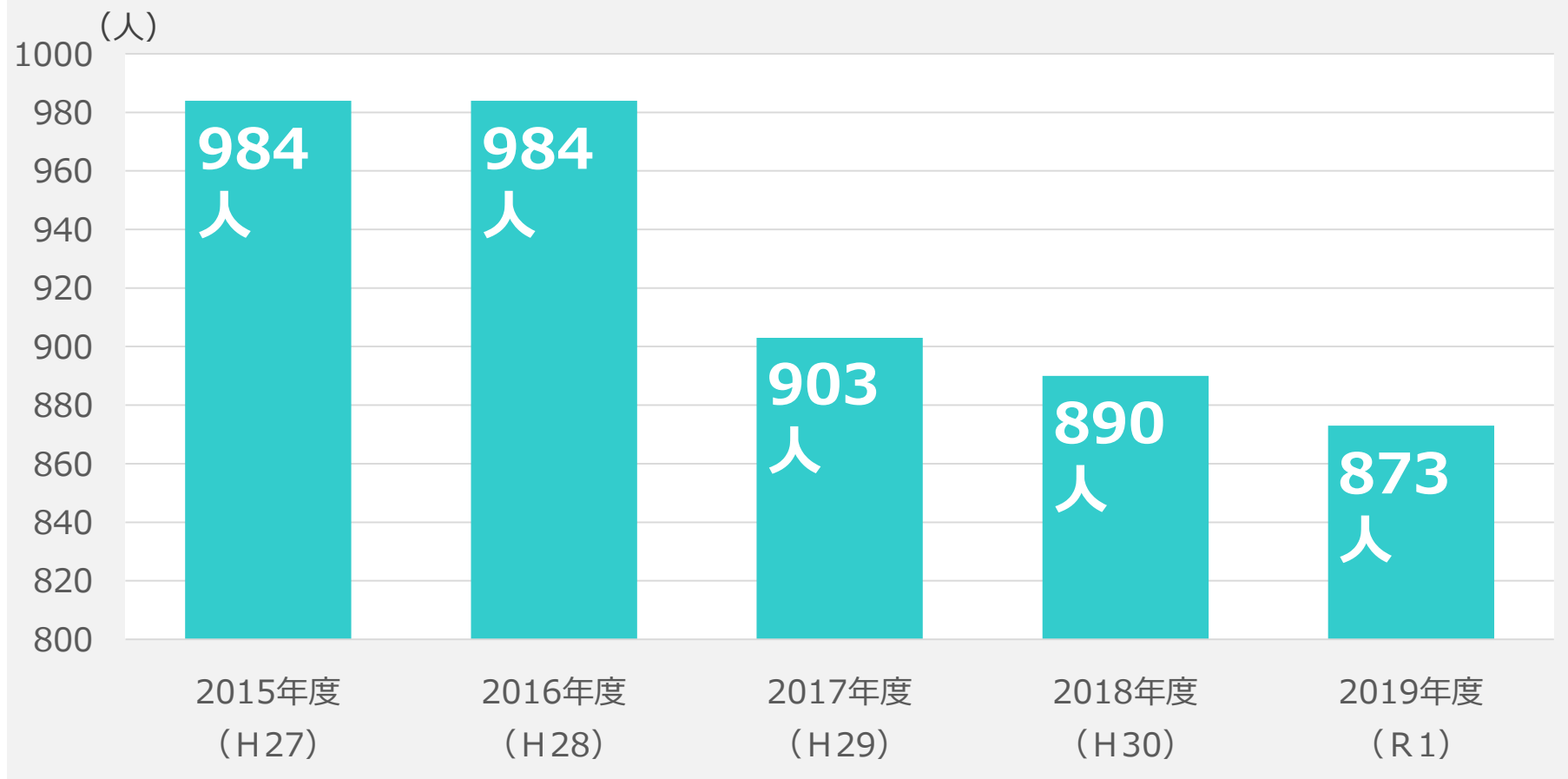
各社への聞き取りを基に共同経営準備室作成。高速バス・空港リムジンバスは除く数値。

4-4 運転士数の推移(5社合計)

全国的に自動車運転の職業※1に関する人手不足が深刻化しており、乗合バスの運転士の確保においても課題が生じている。特に、熊本の場合は、熊本地震の影響で運転士不足が深刻化しており、今後さらに運転士数が減少することが見込まれる。※2

※1 路線バス、貸切バス、トラック等運転の職業 職業分類表より（厚生労働省）

※2 熊本におけるバス交通のあり方検討会検討成果（2020.1.27）：2018年度から10年後には149人不足する見込み。

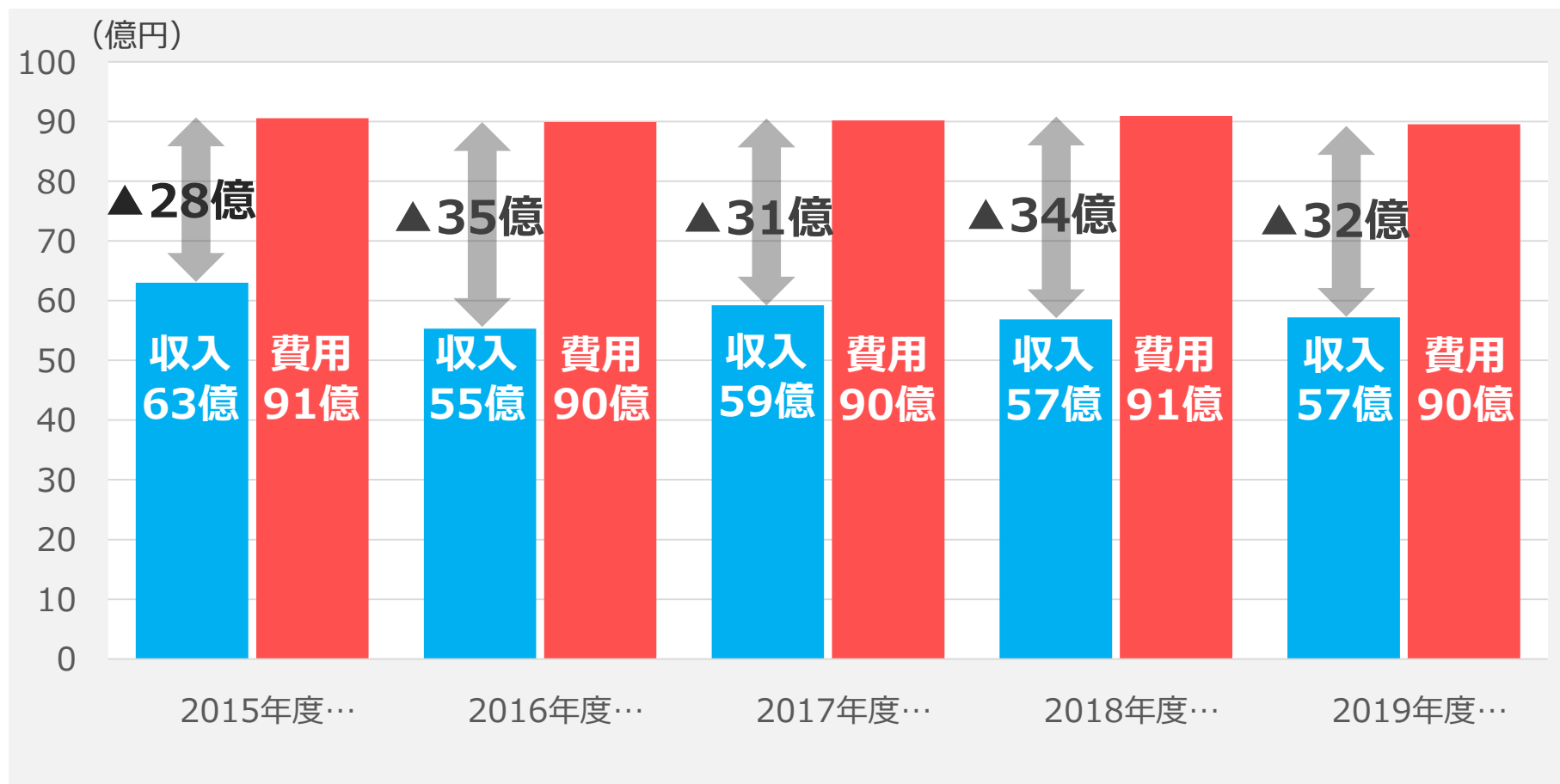


<備考>

要素別原価報告書を基に共同経営準備室作成。乗合事業と貸切事業を兼務した場合は、実績に応じて按分した数値。

4-5 路線バス事業の経常収支の推移(5社合計)

輸送人員の減少に伴い、運送収入は減少。一方、実車走行キロは減少しているものの、一人当たりの人件費増加等により運送費用はほぼ横ばい。各社経常収支は厳しい状態が続いている。



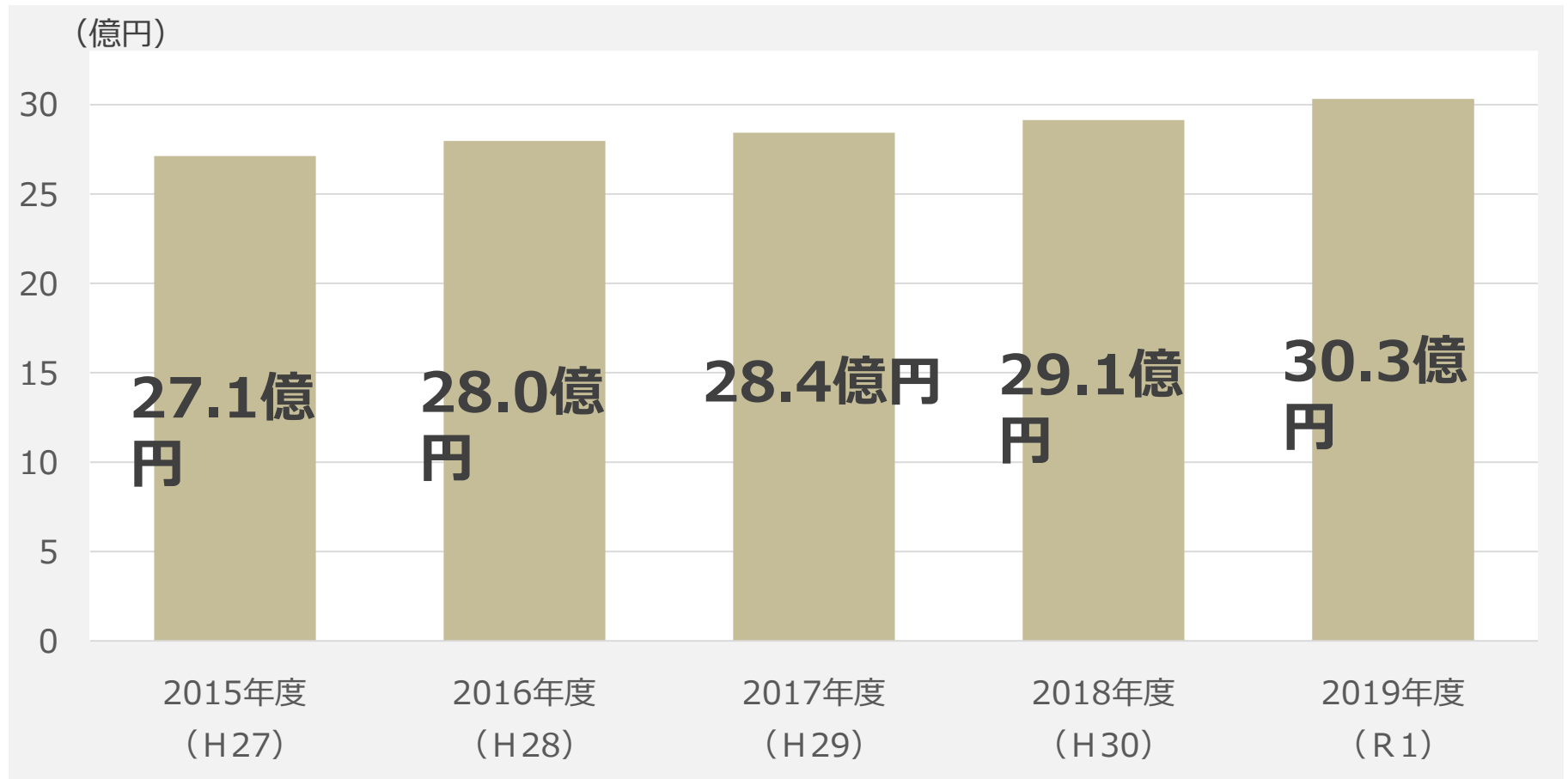
<備考>

要素別原価報告書より共同経営準備室作成。高速バス・空港リムジンバスは除く数値。収入は経常収入、費用は経常費用を指す。

4-6 路線バス事業に対する行政支援額の推移(5社合計)

バスのサービス水準(実車走行キロ等)は減少傾向にあるが、行政からの支援額※は増加傾向にあり、財政負担も重くなっている。

※ 国、県、市町村からのバス運行に関する補助金



<備考>

要素別原価報告書より共同経営準備室作成。

4-7 5社合計値の一覧表

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
輸送人員（千人）	29,974	26,656	27,460	27,050	26,737
実車走行キロ（千km）	32,492	29,617	29,048	28,235	26,742
系統数（系統）	600	592	573	531	518
運転士数（人）	984	984	903	890	873
車両数（両）	895	883	880	848	826
経常収入（百万円）	6,302	5,530	5,923	5,688	5,719
経常費用（百万円）	9,057	8,995	9,019	9,095	8,955
経常収支（百万円）	▲ 2,755	▲ 3,464	▲ 3,096	▲ 3,407	▲ 3,236
行政支援額（百万円）	2,713	2,797	2,844	2,914	3,032

<備考>

系統数は運行系統別輸送実績報告書より作成。その他は要素別原価報告書を基に作成。

5. 今後の取組

5-1 今後の取組について

バス交通が担うべき役割(＝あるべきバス路線網)を将来にわたり維持し、かつその利便性・生産性を最大限向上させるため、会社間の垣根を越えて路線再編等のあらゆる取組を実施する。

■ 共同経営に関する主な事業(2020年度分)

1. 共同経営計画(第1版)の策定

⇒複数のバス事業者が重複して運行している区間について、会社間でサービス内容を調整し、需給バランスに合わせた効率化やダイヤの等間隔化などを行う。

2. 新サービスの導入検討

⇒利便性向上が見込まれる新たなサービス(例：共通定期券、エリア均一運賃等)について、その具体的な内容や効果を調査し、導入を検討する。

3. (仮称)まちなかループバスの導入検討

⇒熊本駅・桜町周辺・通町筋をわかりやすく・はやく結ぶループバスの運行について、導入を検討する。



5社連携による利便性向上と経営基盤強化を進め、
安心して快適にご利用いただけるバスサービスの提供に繋がります

【参考資料】 各社営業所ごとのデータ

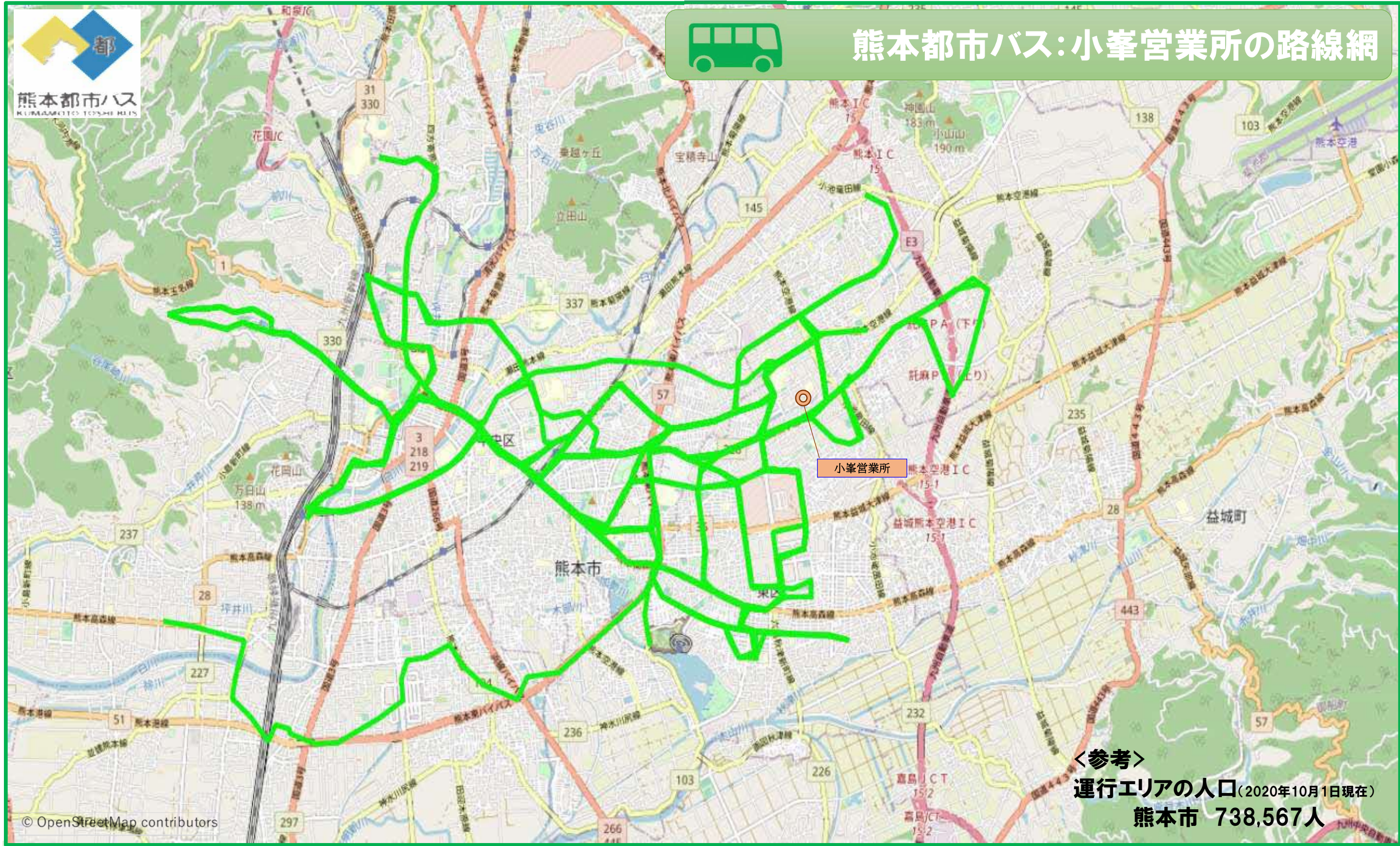
＜備考＞

路線図は2020年4月時点のものです。

営業所間で重複するデータがあるため、各社営業所ごとのデータの合計値と5社合計値が、異なる場合があります。



熊本都市バス:小峯営業所の路線網



熊本都市バス【小峯営業所】の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	37 系統	37 系統	37 系統	39 系統	41 系統
実車走行キロ	2,188,086 km	2,142,649 km	2,051,447 km	1,922,378 km	1,844,756 km
輸送人員	4,130,076 人	3,956,218 人	4,074,329 人	3,897,643 人	3,928,670 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



熊本都市バス:本山・上熊本営業所の路線網

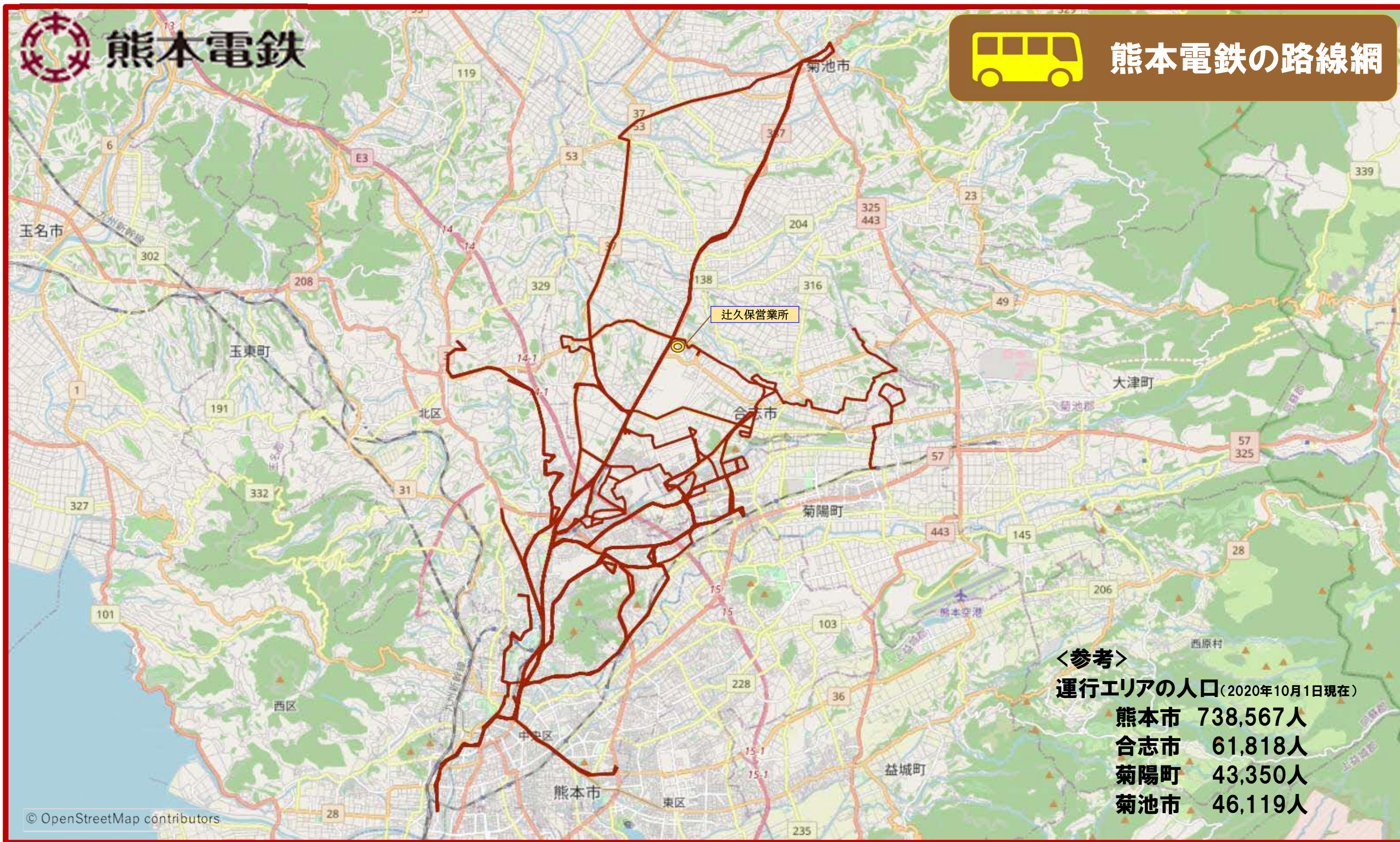


＜参考＞
運行エリアの人口(2020年10月1日現在)
熊本市 738,567人

熊本都市バス:本山・上熊本営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	※他社委託分含む
系統数	62 系統	59 系統	56 系統	58 系統	56 系統	
実車走行キロ	2,639,073 km	2,398,040 km	2,060,756 km	2,014,275 km	1,772,199 km	
輸送人員	4,179,363 人	3,713,470 人	3,613,555 人	3,603,131 人	3,344,195 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる

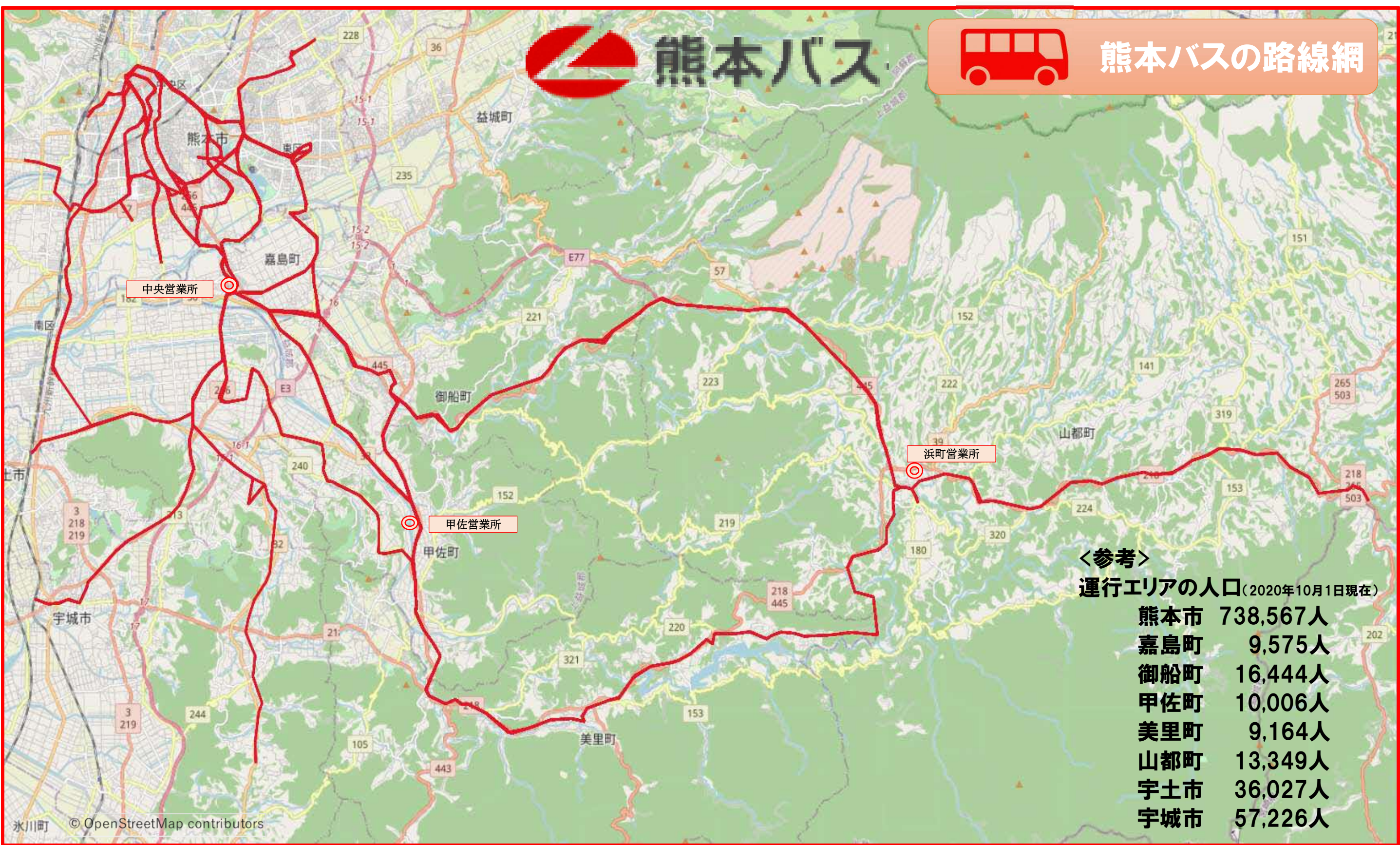


＜参考＞
運行エリアの人口(2020年10月1日現在)

▲熊本市	738,567人
▲合志市	61,818人
▲菊陽町	43,350人
▲菊池市	46,119人

熊本電鉄の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)					
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	92 系統	87 系統	77 系統	71 系統	70 系統
実車走行キロ	3,724,264 km	3,073,382 km	2,794,512 km	2,655,785 km	2,616,592 km
輸送人員	4,783,941 人	4,222,275 人	4,187,860 人	4,042,719 人	3,920,752 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



熊本バスの系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)					
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	50 系統	50 系統	49 系統	48 系統	49 系統
実車走行キロ	3, 690, 648 km	3, 543, 886 km	3, 447, 276 km	3, 225, 477 km	2, 916, 254 km
輸送人員	2, 897, 632 人	2, 631, 629 人	2, 848, 190 人	2, 815, 073 人	2, 774, 415 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



九州産交バス:熊本・木山営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)					
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	65 系統	63 系統	55 系統	51 系統	51 系統
実車走行キロ	1,943,860 km	1,562,216 km	1,449,881 km	1,272,076 km	1,214,903 km
輸送人員	2,203,598 人	1,839,398 人	1,989,956 人	1,936,874 人	2,016,589 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



＜参考＞

熊本市 738,567人

益城町 32,552人

西原村 **6,491人**

南阿蘇村 10,258人

高森町 5,745人

年度

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

系統数

14 系統

13 系統

13 系統

15 系統

8 系統

実車走行キ〇

625,765 km

567,608 km

561,503 km

640,079 km

621,842 km

輸送人員

388,965 人

364,350 人

364,292 人

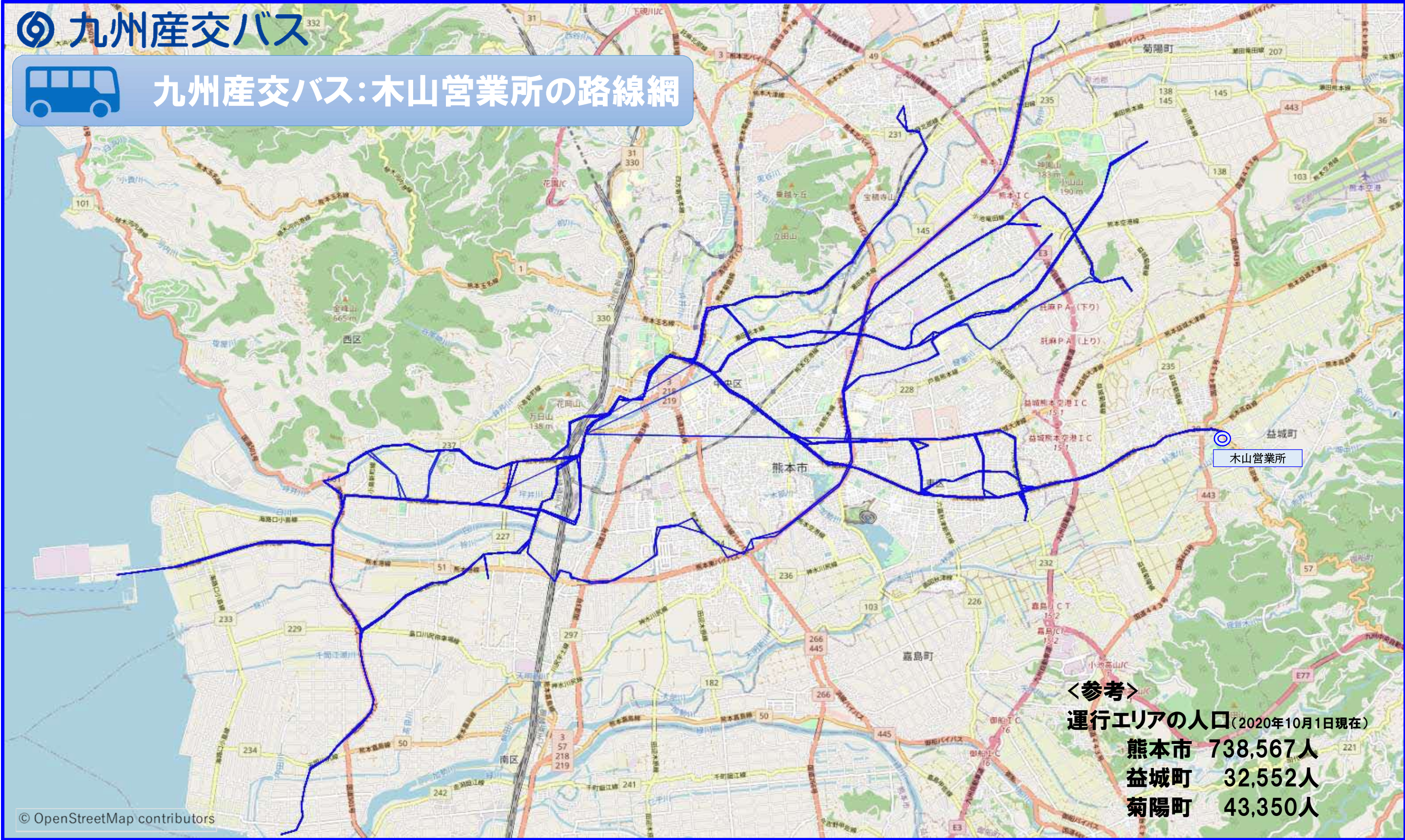
402,558 人

394,619 人

※快速たかもり号

(熊本・高森線) 含む

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



九州産交バス:熊本・木山営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	79 系統	77 系統	63 系統	56 系統	55 系統
実車走行キロ	1,907,656 km	1,525,399 km	1,676,799 km	1,704,218 km	1,721,102 km
輸送人員	3,318,775 人	2,715,991 人	2,803,689 人	2,796,887 人	2,846,621 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交バス:木山営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)					
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	4 系統	6 系統	6 系統	6 系統	5 系統
実車走行キロ	294,432 km	285,074 km	378,198 km	378,208 km	364,126 km
輸送人員	87,037 人	104,865 人	139,630 人	130,798 人	105,174 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



九州産交バス:光の森営業所の路線網



＜参考＞
運行エリアの人口(2020年10月1日現在)
熊本市 738,567人
菊陽町 43,350人
大津町 34,911人

九州産交バス:光の森営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	28 系統	28 系統	15 系統	15 系統	15 系統
実車走行キロ	1,516,161 km	1,196,082 km	1,193,553 km	1,183,918 km	1,214,900 km
輸送人員	2,073,539 人	1,737,162 人	1,836,796 人	1,836,571 人	1,912,835 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交バス:大津営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)						
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
系統数	20 系統	20 系統	23 系統	23 系統	18 系統	
実車走行キロ	491,382 km	590,522 km	582,489 km	571,996 km	517,154 km	※キャロッピー号(菊陽町)含む
輸送人員	113,155 人	136,448 人	138,361 人	132,779 人	119,892 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



九州産交ス…山鹿営業所の路線網

九州産交バス
山鹿営業所

系統数
実車走行キロ
輸送人員
(5年間)

(年 度)
(系統数)
(実車走行キロ)
(輸送人員)

2015年度
19系統
1,473,314km
1,559,734人

2016年度
19系統
1,305,823km
1,333,281人

2017年度
19系統
1,351,629km
1,437,840人

2018年度
18系統
1,353,335km
1,440,330人

2019年度
21系統
1,316,132km
1,497,819人

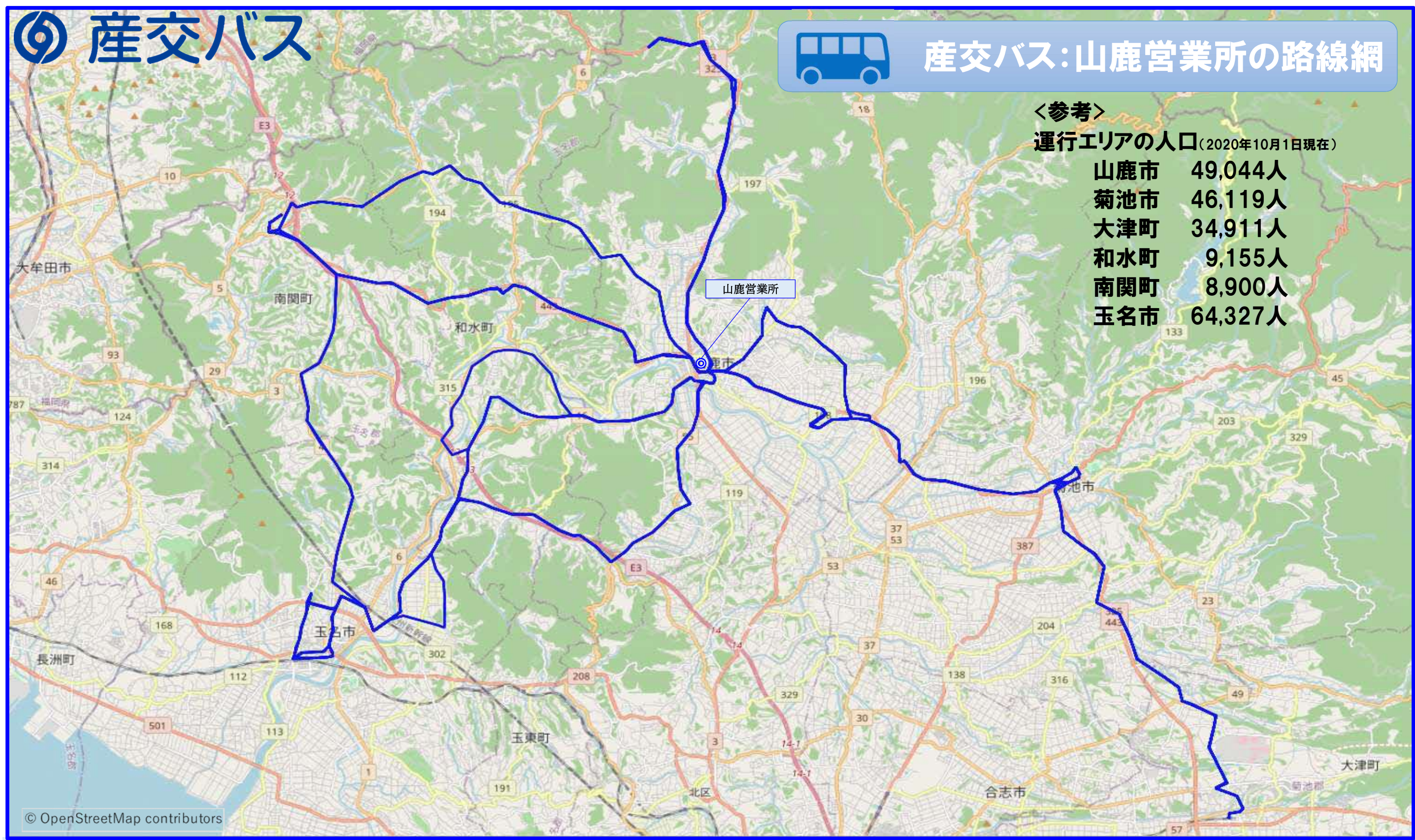
＜参考＞

運行エリアの人口(2020年10月1日現在)

熊本市 738,567人

山鹿市 49,044人





産交バス:山鹿営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)					
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	6 系統	6 系統	6 系統	13 系統	13 系統
実車走行キロ	447,567 km	399,057 km	401,052 km	596,057 km	594,781 km
輸送人員	127,010 人	102,937 人	99,207 人	132,141 人	125,723 人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



九州産交ス…松橋営業所の路線網

九州産交バス
松橋営業所

系統数
実車走行キロ
輸送人員
(5年間)

(年 度)
(系統数)
(実車走行キロ)
(輸送人員)

2015年度
18系統
991,558km
999,571人

2016年度
21系統
786,960km
892,960人

2017年度
18系統
795,837km
1,002,801人

2018年度
18系統
795,034km
1,008,337人

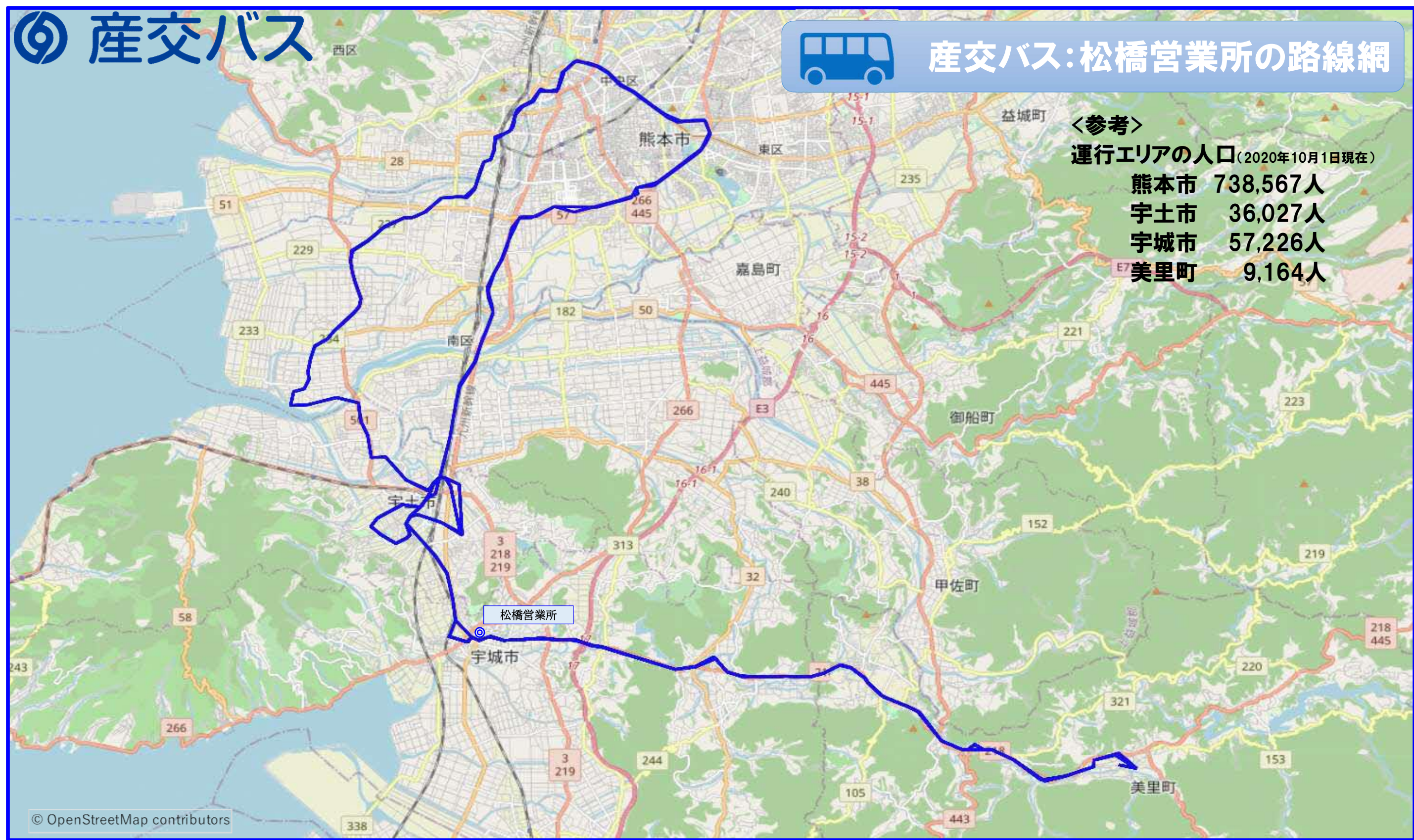
2019年度
19系統
809,920km
1,082,804人



＜参考＞

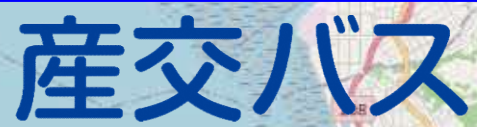
運行エリアの人口(2020年10月1日現在)

熊本市 738,567人
宇土市 36,027人
宇城市 57,226人



産交バス:松橋営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)						※行長ちゃん号(宇土市)含む
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
系統数	6 系統	6 系統	6 系統	6 系統	6 系統	
実車走行キロ	312,400 km	304,674 km	312,159 km	298,611 km	279,467 km	
輸送人員	111,031 人	98,400 人	106,731 人	105,881 人	105,478 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	39 系統	39 系統	39 系統	36 系統	38 系統
実車走行キロ	2,509,531 km	2,422,181 km	2,365,121 km	2,174,000 km	1,918,317 km
輸送人員	1,205,454 人	1,184,615 人	1,158,331 人	1,124,695 人	968,289 人

※玉名市街地循環バス含む

路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交ス…八代営業所の路線網

八代營業所

2019年度
22系統
1,348,202km
544,610人

© OpenStreetMap contributors

宇土市	36,027人
宇城市	57,226人
八代市	122,354人
氷川町	11,116人
芦北町	15,811人
津奈木町	4,256人
水俣市	23,340人

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交ス…水俣営業所の路線網

2015年度
15系統
664,006km
182,732人

2016年度
15系統
619,391km
174,657人

2017年度
15系統
619,836km
171,880人

2018年度
15系統
619,607km
170,664人

2019年度
15系統
613,101km
166,039人



＜参考＞

運行エリアの人口(2020年10月1日現在)

八代市	122,354人
芦北町	15,811人
津奈木町	4,256人
水俣市	23,340人

© OpenStreetMap contributors

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	※じゅぐりっと号 (人吉市) 含む
系統数	28 系統	28 系統	28 系統	28 系統	23 系統	
実車走行キロ	1, 101, 463 km	1, 114, 694 km	1, 116, 611 km	1, 114, 025 km	882, 464 km	
輸送人員	158, 205 人	152, 627 人	161, 177 人	159, 959 人	155, 526 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交バス:三角営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
系統数	18 系統	14 系統	14 系統	14 系統	14 系統
実車走行キロ	847,424 km	801,257 km	788,548 km	791,233 km	716,664 km
輸送人員	183,116 人	169,147 人	162,482 人	152,087 人	145,118 人

※SUNまりんバス
(上天草市) 含む

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より

路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交バス:天草・牛深営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員(5年間)						
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	※のってみゆうカー (天草市) 含む
系統数	35 系統	36 系統	36 系統	33 系統	29 系統	
実車走行キロ	2, 553, 132 km	2, 530, 066 km	2, 516, 256 km	2, 427, 660 km	2, 308, 215 km	※快速あまくさ号 (熊本・天草本渡線) 除く
輸送人員	433, 496 人	433, 369 人	408, 479 人	382, 029 人	364, 598 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる



産交バス
阿蘇営業所

系統数
実車走行キロ
輸送人員
(5年間)

(年 度)
(系統数)
(実車走行キロ)
(輸送人員)

2015年度
17系統
805,006km
212,222人

2016年度
17系統
706,687km
84,606人

2017年度
15系統
702,046km
99,776人

2018年度
13系統
705,567km
146,561人

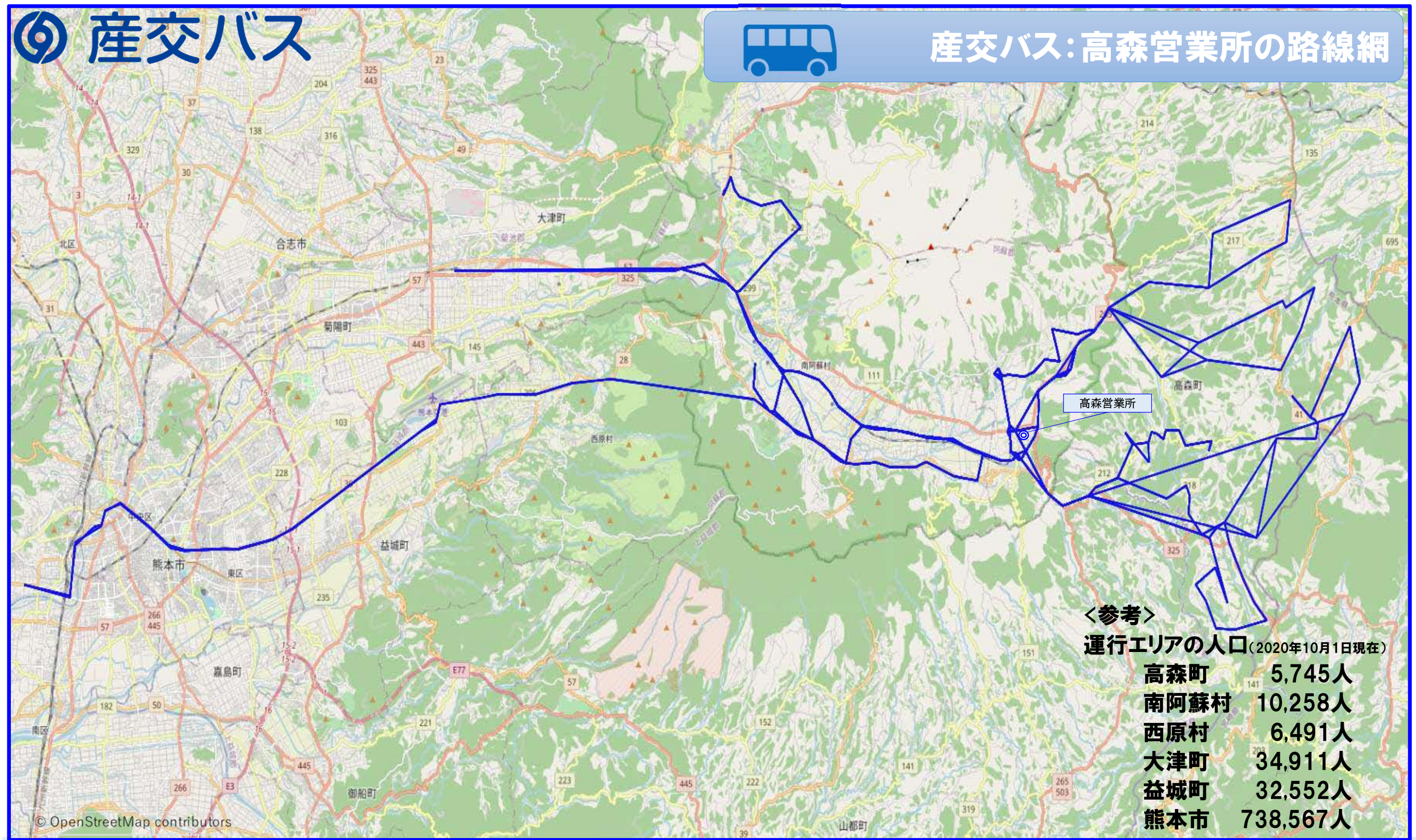
2019年度
15系統
722,778km
134,441人

※阿蘇火口線（阿蘇駅前～
草千里～阿蘇山西駅）含む
※小国郷ぐる～っとバス含む
※快速小国郷ライナー
（大津・小国線）除く



<参考>
運行エリアの人口(2020年10月1日現在)

阿蘇市	24,946人
小国町	6,543人
南小国町	3,712人
産山村	1,363人



産交バス：高森営業所の系統数・実車走行キロ・輸送人員（5年間）						※ゆるっとバス（南阿蘇村）含む ※快速たかもり号 （熊本・高森線）含む ※快速南郷ライナー （大津・高森線）含む
年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
系統数	22 系統	22 系統	24 系統	24 系統	25 系統	
実車走行キロ	338,544 km	331,904 km	509,018 km	455,150 km	428,080 km	
輸送人員	43,791 人	52,278 人	102,024 人	93,449 人	82,191 人	

各市町村の人口：熊本県統計調査課資料より
路線図は各バス停間を直線で繋いでいるため、実際のルートとは異なる